

おし 教えをと き、 バプテスマをほどこす アルマ

だい15しょう



アルマはノア王のしもべたちからのがれて、何日もかくれてい
ましたが、その間にアビナダイが言ったことをきろくしまし
た。(モーサヤ17：3-4)



アルマは自分のつみをくいあらため、ひそかにアビナダイの言
ったことを教えながら、ニーファイ人のところへ行きました。人びと
にイエス・キリストを信じ、くいあらためるように話したのです。
(モーサヤ18：1，7)



昼間、アルマはモルモンのいずみのそばの木のしげみにみをかく
していました。(モーサヤ18：5)



アルマの教えを信じた人びとが、バプテスマをうけにモルモン
のいずみにやって来ました。アルマがバプテスマをほどこし、イエ
スの教会に入ったものは204人でした。(モーサヤ18：8-10,
16-17)



アルマはさいしをせいにして、くいあらためとイエス・キリス
トを信じろしんこうを教えるように言いました。また、あらそわ
ず、いっししなければならぬと言いました。(モーサヤ18：18,
20-21)



アルマにしたがう人びとは、たがいにあいし、たすけ合いました。また、もっているものをわかち合いました。あがないぬし、イエス・キリストを知ってとてもよろこびました。(モーサヤ18：29-30)



ところが、ノア王のしもべたちは、アルマが人びとに教えをいっているのをひそかに見はっていました。ノア王は、アルマがニーフアイ人をはんこうさせようとしていると言って、ころすためにぐんたいをおくりました。(モーサヤ18：32-33)



しかし、神がアルマにノア王のぐんたいが近づいていることをお知らせになったので、たみはかぞくをつれ、かちくやそのほかのものをあつめて、あれ野へにげました。(モーサヤ18：34；23：1)



神は、アルマたちがぐんたいからのがられるように力をおかしになりました。ノア王のぐんたいは、かれらをさがしても、見つけることができませんでした。(モーサヤ19：1；23：2)



あれ野の中を8日の間たびをしたところ、アルマのたみは、きよらかな水のあるうつくしい土地にたどりつきました。たみはさくもつをうえ、家をたてました。(モーサヤ23：3-5)



たみはアルマに王になってほしいと思いましたが、アルマは言いました。「神はそれをのぞんではおられない。あなたたちにじゅうでいてほしいとおもっておられる。」(モーサヤ23：6-7, 13)